

## 教育委員会（9月定例会）会議録

- 1 開催期日 平成29年9月4日（月） 13時30分 開会
- 2 場 所 中央公民館第3研修室
- 3 本日の会議に出席した委員の氏名は次のとおりである。
  - ・ 教育長 宮内 浩二郎
  - ・ 委 員 黒木 敏行
  - ・ 委 員 今村 博美
  - ・ 委 員 屋敷 和久
- 4 本日の会議に説明等のために出席した職員の氏名は次のとおりである。
  - ・ 教育課長 渡具知 実
  - ・ 教育課長補佐 恒吉 正昭、山田 正人、西山 雄治（記録）
  - ・ 教育課職員 原田 誠、福元 雄二
- 5 前回の会議録の承認 黒木 敏行 委員（8月定例会）
- 6 会議録署名委員の氏名 今村 博美 委員
- 7 行事報告 8月行事
- 8 本日の会議に付議した事項は次のとおりである。
  - 可・否・続・同) 議案第14号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について
  - 可・否・続・同) 議案第15号 三股町立文化会館運営委員の選出について
  - 可・否・続・同) 議案第16号 三股町立体育施設管理規則の一部改正について
- ★ 委員協議会
  - ① 複式学級のあり方について
- ★ 報告
  - ① 生徒指導状況について
  - ② 9月定例議会の状況について
  - ③ 学校施設関係の要望整理について
- ★ その他
  - ① 運動会の出席について
- 9 行事予定 9月行事
- 10 閉 会
  - ・ 次回定例会 期日：平成29年10月4日（火） 13時30分～15時
  - 場所：中央公民館第3研修室

教育長	あいさつ 夏休み中に、大きな事故・事件も無く2学期が無事にスタートしている。全国中学校体育大会に、三股中学校の野球部とバスケットボール部が出場し活躍した。国内・海外派遣は、台風の影響により日程に変更が生じたが、無事に終了した。参加した子供たちは、とても良い経験が出来たと思う。8月13日～15日に学校閉庁を行った。
教育長 黒木委員	前回の会議録の承認を黒木敏行委員へ承認する
教育長	次回会議録署名委員に今村博美委員を指名する
渡具知	【行事報告】 8月行事について資料に基づき報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1日 ふるさと振興人材育成国内派遣出発式 町長・教育長</li> <li>・ 2日 三股町教育研究会夏季研修会</li> <li>・ 同日 熊本大学社会教育主事講習現地研修 11人参加</li> <li>・ 3日 九州地区市町村教育委員会研修大会</li> <li>・ 8日 教育委員会8月定例会</li> <li>・ 12日 みまた座試演会(朗読劇) 門川町から劇団「かどっこ」が見学に来た。</li> <li>・ 13日～15日 三股町学校閉庁</li> <li>・ 18日 三股町人権啓発研修(都北地区人権・同和教育研究大会) 430人</li> <li>・ 18日・19日 自主文化事業「のちの白鬼」60人</li> <li>・ 24日 ふるさと振興人材育成派遣国内・海外派遣事業合同解団式</li> <li>・ 25日 絵本作家 田中六大さんおはなし会 60人</li> <li>・ 28日 適応指導教室始業式(小中学校始業式)</li> </ul>
教育長	行事内容について質問等を求める。 無ければ次に進む。
教育長 恒吉	【付議事項】 議案第14号 「要保護及び準要保護児童生徒の認定について」 今回4名の申請があり、町の認定要件に当てはめたところ、認定1名、不認定3名となった。今回、難しい案件は無かったが、所得審査のところ、申請者の現在の困窮状態が反映されていないという意見が出た。今後、審査基準の内容を再検討して、いずれ提案したい。
教育長 委員一同	議案第14号について承認を求める。 承認する。
教育長 渡具知	議案第15号 「三股町立文化会館運営委員の選出について」の説明を求める。 資料に基づき説明。 任期満了による文化会館運営委員の選出である。候補者のうち1人が新人で、残りは再任となる。
教育長 委員一同	議案第15号について承認を求める。 承認する。
教育長 西山	議案第16号 「三股町立体育施設管理規則の一部改正について」の説明を求める。 資料に基づき説明。 様式をより分かりやすく変更しようとするものである。
教育長	議案第15号について承認を求める。

<p>委員一同</p> <p>教育長 黒木委員</p>	<p>承認する。</p> <p><b>【委員協議】</b></p> <p>① 複式学級のあり方について</p> <p>映像を観ながら、黒木委員に説明をお願いします。</p> <p>6月5日に縄瀬小学校へ複式学級の見学に行った様子について説明。</p> <p>1年生と2年生の複式学級で国語の授業を見学した。</p> <p>学習段階が4段階に分かれている。まず「つかむ」次に「調べる」次に「確かめる」そして最後が「深める」と分かれており、先生が直接指導する段階と、児童が自分で進める間接指導の段階を学年別に交互に設定し、2つの学年の授業を同時に進めていく。この学年間を行き来することを「わたり」という。</p> <p>複式学級では、互いの授業の様子を近くで感じ取れる。1年生は1年後に習うであろう2年生の授業を、2年生は1年前に習った1年生の授業を、いろんな思いで感じ取っている。</p> <p>解いた課題のプリントを持ち寄って確かめあうなど、小規模校ならではの様子も見られた。</p> <p>複式学級での授業は、2学年分の授業計画が必要となる。</p> <p>間接指導というのも特徴の一つである。</p> <p>1年前のことや1年後の授業を聞くことができる。</p> <p>少人数なので、目が行き届く。</p>
<p>教育長 今村博美委員 屋敷委員 原田 屋敷委員 原田 教育長</p>	<p>今の発表について、意見は無いか。</p> <p>先輩・後輩の姿を互いに意識し、自ら学ぶといった自主性が育っていると思う。</p> <p>「わたり」という授業のやり方は、マニュアルに載っているのか。</p> <p>マニュアルにある。</p> <p>先生にとって、複式学級での授業の方が、より高いスキルを必要とするのか。</p> <p>2つの授業の準備が必要となるため、ある程度の経験は必要である</p> <p>現在、教育機器が発達しているので、間接指導に活用されている。</p> <p>長田小学校で複式解消を行い、単式学級での授業を行っているが、学力にどのように反映されているかを検証したい。</p>
<p>原田</p> <p>教育長 屋敷委員 教育長 今村博美委員 黒木委員</p>	<p>資料に基づいて説明。</p> <p><b>【説明内容割愛】</b></p> <p>以上が、ここ最近の学力状況である。</p> <p>アクティブラーニングを長田小学校で試す良い機会にあるのではないかと思います。</p> <p>複式学級であるからといって、学力が付かないといったことは無いと思う。</p> <p>先生たちのスキルも関係していると思う。</p> <p>先生たちが密着してやれば、必ずしも学力が上がるというものでは無いと思う。子供たちに考えさせる「間」が大切であると思う。</p>
<p>教育長 今村博美委員 教育長</p>	<p>各小・中学校の児童・生徒一人に掛けている予算にも大きく開きが生じている。</p> <p>費用対効果という言葉で片付けられることではないが、無視も出来ないと思う。</p> <p>子供たちは、ある程度の人数が揃った中で、育ったほうが成長できるのではないかということで、数パターンの学級シミュレーションを作ってみた。</p>
<p>原田</p> <p>教育長</p> <p>原田</p>	<p>平成32年度から5・6年生に外国語科の授業が35時間増、3・4年生に外国語活動の授業が35時間増となる。</p> <p>学習指導要領では平成32年度からであるが、三股町では平成30年度から本格実施する。</p> <p>まず、例1-1、3・4年生1学級のみを複式学級にした場合、県費の職員が5人、非常勤の職員を1人とする。学級担任が、国語・社会・算数・理科については4年生だけを受け持ち、音楽・図工・体育・道徳・総合的な学習・特別活動については3・4年生同じ時間に授業を行う。非常勤の職員は、国語・社会・外国活動について3・4年生</p>

<p>教育長</p> <p>今村博美委員 教育長</p> <p>黒木委員</p> <p>山田</p>	<p>別々に授業を行う。また、教頭にも週に7.6時間授業に入ってもらおう。このパターンのメリットとしては、5教科については、本人に応じて段階的な指導を充実させ、主体的な学びの実現が図れる。5教科以外については、他者との共同によって課題の解決をさせ、また複数の先生と対話させることで、深い学びに繋がっていくと考える。</p> <p>次は、5教科については正職の先生に複式学級で授業をしてもらい、音楽・図工・体育・道徳・総合的な学習・特別活動については、常勤の講師に受け持ってもらおう。このパターンのメリットとしては、全教科において他者との共同での課題解決が出来る。5教科については正式な教員が授業を行う。</p> <p>次は、3・4年生、5・6年生を複式学級とした場合、正式な先生が4人、常勤の講師が1人、教頭にも授業に入ってもらい、5教科については段階的な指導を充実させるために、正式な先生が別々に授業を行い、技能教科については、常勤の講師と教頭が複式で行う。</p> <p>例2-2は、5教科については、正式な先生が授業を行い、空き時間を10時間ほど作って、教材研究をしっかりしてもらおう。技能教科については、常勤の講師1人に授業をしてもらおう。この場合、常勤の講師の授業時間は17.6時間なので、教頭に授業に入ってもらわなくても良い。音楽・体育の授業などは、2～3人よりその倍程の人数で学んだほうが、深い学びに繋がると考える。</p> <p>次は、例2-3、非常勤の講師を1人雇用して10.4時間の授業を受け持ってもらい、教頭にも授業に入ってもらえば、常勤でなくても非常勤1人の雇用で対応出来る。ただし、5教科については学級担任にしっかりと授業をしてもらおう。メリットは、先の例と同じである。</p> <p>次は、全教室を複式にした場合、正式な先生3人、常勤の講師2人、教頭にも授業に入ってもらい、5教科については学級担任にどちらかの学年の授業を受け持ってもらい、技能教科その他を一緒に見てもらう。講師Dが21.0時間、講師Eが21.6時間、教頭が7.9時間入ってもらえば、5教科は別々に段階的に充実した指導が出来る。</p> <p>最後のパターンは、技能教科を学級担任以外が持ち、この際は、常勤の講師1人と教頭で対応出来る。常勤講師20.6時間、教頭4時間で対応出来、予算の節約になる。</p> <p>複式解消を続けるのか、複式にして複式解消の予算を他の教育予算として計上出来るのかが、検討する土台となる。</p> <p>今度の新しい学習指導要領改定の方向性であるが、学校のカリキュラムマネジメントに工夫が必要であり、地域との連携を図ることが述べてある。3つの視点「人間性」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」これらを将来に向けて資質能力を高めることが書いてある。具体的に何を学ぶのかとして「外国語科」が入ってくるなどがある。どのように学ばせるかであるが、間接指導の部分をもどのようにするか、今、言われているのが「協同性」である。グローバルな時代において、色々な価値観を持っている人がいる中で、多くの人と係わることで自分の知識をより深める。アクティブ・ラーニングの視点であるが、「主体的な学び」、「対話的な学び」、「深い学び」とある。特に「対話的な学び」などにおいて、あまりにも人数が少ない場合、出来ない可能性が高いなどのデメリットが出てくる。</p> <p>講師等を減らすことによって、別の予算として活用出来るのではないかと、また、講師を減らすことで、学力を付けられるのではないかとこの考え方もある。5教科だけを分けて授業を行い、残りの教科を複式にすることにより、これから求められる人間性を育てられるのではないかと、間接指導の主体的な学習が出来るのではないかと。</p> <p>教頭が授業に入るといことは、負担にはならないか。</p> <p>国が複式学級のある学校に対して、教頭も授業に入るよう指導をしている。実際に中学校の教頭は、ほとんどが授業をしている。</p> <p>多くのパターンに分けられていて、選択の余地がある。一步踏み出すことが必要であると思う。ベテランの先生たちがいるので、複式学級でこそ実力が発揮できると思う。</p> <p>複式学級にすることで、教室が余るとしたら、地域の人たちに活用してもらおうことも出来、開かれた学校となって、地域との一体感をより強めることが出来ると思う。</p>
--	--

今村博美委員	「自主性」や「対話」といったものは、いくら口で伝えても身には付かない。やはり、経験をさせないといけないと思う。そういう点では、地域の人たちが学校内にいて、子供たちと会話をするというのは効果的ではないだろうか。
屋敷委員	実際に長田小学校に通っている子どもの保護者の意見として、通わせて良かったと思っている。校風だったり地域性だったりというのが、子供が育っていく環境として素晴らしいと感じている。複式解消を止めるとなると、反発される方もいるかもしれないが、丁寧な説明によって必ず理解をしてもらえと思う。
教育長	長田小学校をいつまで存続させるのか、町の考え方も関係してくる。小規模校が合っている子供たちもいるので、これまで通りのやり方を続けるのか止めるのかで、考え方は変わってくると思う。
今村博美委員	町が、過疎化が進む地域において、定住促進の施策を推進している。永久的に残したいといった考えはあると思う。総合教育会議において、議論してみたい。
黒木委員	教育委員会の統一された意見として、総合教育会議に提案すべきではないか。これらのデータを示して、大きな課題があることを明確に説明して、提案してはどうか。
教育長	事務局から何か無いか。
山田	第5地区分館、第5部消防団詰め所、両施設ともに災害危険区域にあるため、近い将来に移転が必要となる。その代替えとして、長田小学校は立地性や施設性として最適であるように思う。昼間は学校として、夜間は地域の施設として活用出来ないかと思う。
教育長	長田小学校の地域住民解放については、良い考えであると思う。
教育長	<b>【報告】</b>
原田	①「生徒指導状況について」の説明を求める。 資料に基づき説明。 不登校、いじめ、暴力行為、非行、虐待等について説明。
屋敷委員	以前、体罰を行う先生がいたが、現在転勤して町外の学校にいる。この先生の体罰を止めさせる手立ては無いのか。
教育長	保護者が教頭、校長又は教育委員会に相談してもらえれば対処出来る。
教育長	②「9月定例議会の状況について」の説明を求める。
渡具知	補正予算資料に基づき説明。 まず、歳入の補正予算として、学校給食会運営委託料の返還金が2,807千円の増額補正がある。 次に歳出の主なものについて説明する。 教育委員会委員報酬 326千円増額 幼保小連携講演会委託料 80千円増額 学校ICT設備リプレース委託料 4,263千円増額 学校支援員賃金(小学校) 405千円増額 学校支援員賃金(中学校) 135千円増額 勤労者体育センター耐震補強・改修工事 95,148千円増額 その他、一般質問が2人の議員から出ている。
教育長	今の説明について質問は無いか。 無ければ次に進む。
教育長	③「学校施設関係の要望整理について」の説明を求める。
福元	資料に基づき説明。 各学校から施設の改修等の要望をまとめてみた。 まず、要望数について、三股小学校10件、勝岡小学校6件、梶山小学校6件、宮村小学校2件、長田小学校13件、三股西小学校8件、三股中学校5件、合計50件の要望があった。うち10件については既に実施済みであり、8件について今年度中に実施

教育長	<p>予定のものである。残り 32 件については、早急性のあるものを優先して、来年度以降対応していきたい。主な案件として、三股小学校の窓の手すり設置、勝岡小学校の床の破損修理、梶山小学校の老朽化した鉄製掲示板の撤去、宮村小学校の掲示板と靴箱の設置、長田小学校のグラウンドのネット修繕、三股西小学校の火災ベル修繕、三股中学校のグラウンド周辺樹木の剪定と駐車場整備等がある。</p> <p>この説明について何か質問等は無いか。</p> <p>無ければ次に進む。</p>
教育長 常吉	<p><b>【その他】</b></p> <p>①「運動会の出席について」の説明を求める。</p> <p>運動会の出席の振り分けについて伺いたい。</p> <p>三股中学校(9/10):教育委員全員、梶山小学校(9/24):今村(一)委員、長田小学校(9/24):屋敷委員、三股小学校(10/1):屋敷委員、勝岡小学校(10/1):教育長、宮村小学校(10/1):今村(博)委員、三股西小学校(10/1):黒木委員</p>
教育長 渡具知	<p>9月行事</p> <p>9月行事の説明を求める。</p> <p>9月行事について説明。</p> <p>次回の定例会は、10月2日(月) 13時30分から 中央公民館第3研修室で開催</p> <p><b>【閉会】(16時20分)</b></p>

	教育長	教育委員
会議録署名者		